

令和6年度(2024年度)第15回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和7年(2025年)3月17日(月) 午後2時30分～午後3時20分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	梅川 日出樹
文学部長	村尾 治彦
環境共生学部長	白土 英樹
総合管理学部長	宮園 博光 (リモート参加)
共通教育センター長	山田 俊
地域・研究連携センター長	石橋 康弘 (リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎 (リモート参加)
国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート (リモート参加)
熊本大学理事	宮尾 千加子
株式会社エフエム熊本相談役	荒木 正博
熊本県公立高等学校校長会長	田中 篤

○監事

弁護士	本田 悟士 (リモート参加)
公認会計士・税理士	吉川 榮一 (リモート参加)

○事務局

加藤事務局次長、柳田総務課長、堀口教務入試課長、國武企画調整室長、山村入試班長、藤本教務班参事、森木教務班主事

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

①学長選考会議委員の選出について

事務局企画調整室から、資料1に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・ 以前ご承認いただいた学長選考会議の委員の選出をお願いするもの。
  - ・ 委員の任期は2年、全体で6名で、教育研究会議からは3名選出いただきたい。そのうち1名は外部委員から選出することとなっている。自薦他薦は問わない。来年度5月から6回の会議の開催が予定されている。会議の開催日程についても審議をお願いしたい。
- (自薦の発声がなかったため、鈴木副学長から、外部からは荒木委員、内部からは村尾委員と白土委員でどうかというという提案あり。)
- ・ 鈴木副学長からの3名の推薦があったが3名及び他の委員からの異議はなかった。

→ 審議の結果、鈴木副学長の推薦の3名とすることと、日程についても承認された。

## ②令和6年度計画（案）について

事務局企画調整室から、資料1に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・第4期中期計画の2年目にあたる年度計画となる。地独法上の義務ではないが進捗管理のために本学では年度計画で管理することとしている。
- ・(1) 社会と時代の要請に合わせた教育の質の向上では、文部科学省が認定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(MDASH)」の申請を行う。また、令和8年度スタートするグローバル・スタディーズ学科の広報を強化する。
- ・(2) 地域との幅広い協働においては、「もやいすと育成プログラム」や地域連携型学生研究等を進めるとともに、地域共創分野における「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点による研究を推進する。
- ・(3) 地域の国際化に対応し、国際社会にも寄与する教育研究の推進では、令和7年度からe-learningシステムの活用を開始し、もやいすとグローバル育成プログラムの「グローバル実践活動」を充実させる。
- ・(4) その他では、キャリアデザイン教育のブラッシュアップ及び、DXをさらに推進する。
- ・審議後に年度末までの年度計画の策定を予定している。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## ③令和7年度（2025年度）入学者選抜（大学院秋季入学）の実施方針について

事務局教務入試課から、資料3に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・令和7年度(2025年度)入学者選抜のうち、大学院秋季入学の博士後期課程の秋季入学（水銀研究研究入学生奨学金枠を除く）に係る実施方針で、例年と同様の募集人員及びスケジュールをお示している。審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## ④令和7年度（2025年度）入学者選抜（大学院秋季入学：熊本県立大学水銀研究留学生奨学金枠）の実施方針について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・令和7年度(2025年度)入学者選抜のうち大学院秋季入学の博士後期課程の、水銀研究留学生奨学金特別選抜について、募集人員2名とし、例年と同様のスケジュールでお示ししている。審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## ⑤ 名誉教授称号授与について

事務局総務課から資料5に基づき、以下のとおり説明があり、加えて、文学部長、環境共生学部長及び総合管理学部長から、推薦状に基づき候補者の推薦理由の説明があった。

- ・名誉教授の称号については、「熊本県立大学名誉教授称号授与規程」第2条各号に該当する者の中から、本会議での選考を経て授与することとしている。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

#### ⑥ 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（MDASH）の申請について

共通教育センターから、資料2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・本学においては、全学で応用基礎レベルの区分での申請を予定している。
- ・「データサイエンス入門」及び「データサイエンス演習」を全学必修事業としていることから申請をするもの。
- ・実際の申請は来年度の5月を予定しており、8月には認定の通知がある見込み。別添の様式1～4を提出予定である。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

### (2) 報告事項

#### ① 令和7年度教員の採用について

事務局総務課から、資料7に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・令和7年度4月から資料のとおり、文学部1名、環境共生学部2名、総合管理学部1名の教員の採用が予定されているのでご報告する。全て教育研究会議で審議いただいた方である。

#### ② 共通教育センターに係る関係規程の改正について

事務局総務課から、資料8に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・1点目が、共通教育センター傘下の各委員会について、より専門性を高めるため、「専門委員会」として整備しそれを規程化するとともに、「緑の流域治水研究室」の名称と「共創の流域治水研究室」に名称変更する改正。
- ・2点目が教職課程に関しては、全学的な調整を要することから、教務委員会と同等の「教職課程委員会」とし、規程化するもの。

#### ③ 令和5年度内部質保証推進委員会の審議結果について

事務局教務入試課から、資料9に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・本学における教育の内部質保証に関する全学的な責任を負う組織として、規程に基づき定例的に委員会を開催したので、その結果を報告する。
- ・チェックリストに基づき点検・検討を行って、助言指導をすることとなったことから、別添のとおり、教務委員会及び大学委員会に置いて、令和4年度に行ったDPの指標化についての見直しを今年度中を目途に行うよう指示をして、現在見直しを行っているところ。

4 その他

次回の日程

令和6年度(2024年度)第16回 3月20日(木・祝)午前10時から  
本部棟2階大会議室及びオンライン

5 閉会